

Autodesk® アップグレード ポリシー変更(2015 年)

よくある質問と回答(FAQ)

本書はオートデスクのお客様を対象に、近日中に行われるオートデスクのアップグレード ポリシー変更についてのよくある質問(FAQ)をまとめたものです。

目次

Autodesk® アップグレード ポリシー変更

1.1. アップグレード ポリシーに関する変更とは何ですか？	2
1.2. オートデスクが旧バージョンからのアップグレード版提供を取りやめる理由は何ですか？	2
1.3. オートデスクではレンタル プランのみのライセンス モデルへと完全に移行するということですか？	2
1.4. 今回の変更は既に永久ライセンスを購入しているお客様にとって影響はありますか？	2
1.5. 新しいアップグレード ポリシーが実施適用されるのはいつですか？	2
1.6. どの製品のアップグレードが廃止されますか？	2
1.7. どの製品が今回のポリシー変更の対象となりますか？	2
1.8. 今回のアップグレード ポリシー変更で、どのようなお客様が影響を受けますか？	2
1.9. このアップグレードポリシーの変更は、Autodesk Maintenance Subscription (従来のサブスクリプション) を契約しているお客様にも影響しますか？	2
1.10. このポリシーは、E-Flex や Multi-Flex のお客様にも影響しますか？	2
1.11. このポリシーは、中央省庁/自治体/公共機関のお客様にどのように影響しますか？	2
1.12. アップグレード ポリシーは、オートデスク製品のサポート ポリシーに影響を及ぼしますか？	3
1.13. 2015 年 2 月 1 日以降、ソフトウェア製品の旧バージョンを所有するお客様は、どのようにして最新版を入手することができますか？	3
1.14. 現在所有するオートデスク ソフトウェアのライセンスを現時点でアップグレードすることはできますか？	3
1.15. 変更前にアップグレードが必要なソフトウェアの一覧を確認することはできますか？	3
1.16. クロスグレード(現行バージョンから同じバージョンの上位製品への移行)は廃止されますか？	3
1.17. クロスグレードとは？	3
1.18. オートデスクでは「上位製品」をどのように定義していますか？	3
1.19. 永久ライセンスから Desktop Subscription(期間限定のレンタルライセンス)にクロスグレードすることはできますか？	3
1.20. アップグレード ポリシー変更についてさらに質問がある場合の連絡先は？	3

1.1. アップグレードポリシーに関する変更とは何ですか？

2015年2月1日以降、オートデスクでは旧バージョンから最新版へのアップグレード購入オプションをご利用いただけなくなります。

1.2. オートデスクが旧バージョンからのアップグレード版提供を取りやめる理由は何ですか？

オートデスクでは、お客様との持続的な関係を築くためのビジネスモデルを展開しており、製品の主たる提供方法として Maintenance Subscription（従来の Subscription）を伴う永久ライセンス製品および Desktop Subscription（旧レンタルライセンス）を提供しています。

現在弊社のお客様のほとんどが Maintenance Subscription を利用されていることから、購入方法を簡素化する目的で 2015 年からアップグレード版の販売を終了することになりました。

Autodesk Subscription は、最新の作業環境と市場競争力を維持する最もコスト効率のよい方法です。オートデスクは Autodesk Subscription をご契約のお客様に、最新版の提供のみならず、柔軟なライセンス運用、Autodesk® 360 クラウドサービスの追加利用特典など、付加価値の高いサービスを提供します。

1.3. オートデスクでは Desktop Subscription（旧レンタルプラン）のみのライセンスモデルへと完全に移行するというのですか？

いいえ。現時点では、オートデスクがすべての製品のライセンスモデルを変更する計画はありません。Maintenance Subscription 契約を伴う永久ライセンスは、オートデスクのライセンスモデルで重要な位置づけにあることに変わりはありません。

1.4. 今回の変更は既に永久ライセンスを購入しているお客様にとって影響はありますか？

既に永久ライセンスを購入済みのお客様は、お手持ちのソフトウェアを無期限で継続的に利用できます。

1.5. 新しいアップグレードポリシーが実施適用されるのはいつですか？

新しいポリシーが適用されるのは 2015 年 2 月 1 日からとなります。それ以降は、旧バージョンから最新版へのアップグレード購入オプションを提供いたしません。

1.6. どの製品のアップグレードが廃止されますか？

(Creative Finishing 製品を除く)すべての製品ラインにわたり、旧バージョンからのすべてのアップグレードオプションが終了となります。Subscription を伴う永久ライセンスをご利用のお客様は、Autodesk Subscription の特典として、引き続きアップグレード版の提供を受けることができます。

1.7. どの製品が今回のポリシー変更の対象となりますか？

(Creative Finishing 製品を除く)永久ライセンスで販売されるすべての製品が、今回のポリシー変更の対象となります。

1.8. 今回のアップグレードポリシー変更で、どのようなお客様が影響を受けますか？

アップグレードポリシーの変更は、Autodesk Maintenance Subscription を契約していない、オートデスク製品を購入したすべてのお客様に影響します。Autodesk Maintenance Subscription を契約していないお客様には、2015 年 2 月 1 日以降、アップグレード価格で最新版を購入することができなくなります。

1.9. このアップグレードポリシーの変更は、Autodesk Maintenance Subscription を契約しているお客様にも影響しますか？

いいえ。今回のアップグレードポリシー変更は、有効な Autodesk Maintenance Subscription 付きのソフトウェアライセンスをお持ちのお客様には影響しません。Autodesk Maintenance Subscription ご契約のお客様は、Subscription を継続して更新をする限り、ソフトウェアのアップグレード版の提供を引き続き受けることができます。

1.10. このポリシーは、E-Flex や Multi-Flex のお客様にも影響しますか？

E-Flex または Multi-Flex を購入されたお客様は、引き続き最新版製品を利用できます。

1.11. このポリシーは、中央省庁/自治体/公共機関のお客様にどのように影響しますか？

アップグレードポリシーの変更は、Autodesk Maintenance Subscription を契約せずに永久ソフトウェアライセンスを購入されたすべての政府および地方自治体のお客様に影響します。2015 年 2 月 1 日以降、Autodesk Maintenance Subscription を契約していない中央省庁/自治体/公共機関のお客様は、アップグレード価格で最新版の購入ができなくなります。

1.12. アップグレード ポリシーは、オートデスク製品のサポート ポリシーに影響を及ぼしますか？

いいえ。現時点では、オートデスクにはサポート ポリシーの変更予定はありません。オートデスクでは、Maintenance Subscription をご契約の場合、3 バージョン前までの製品をサポートしています。オートデスクがアップグレード版の販売を中止した後も、このサポート制度は継続します。

1.13. 2015 年 2 月 1 日以降、ソフトウェア製品の旧バージョンを所有するお客様は、どのようにして最新版を入手することができますか？

2015 年 2 月 1 日以降、最新版の使用を希望されるお客様は、最新版を新規製品価格で購入することになります。

1.14. 現在所有するオートデスク ソフトウェアのライセンスを現時点でアップグレードすることはできますか？

合法的にインストールされたオートデスクのソフトウェアについては 2015 年 2 月 1 日より前であれば、アップグレード版の購入による最新版の取得が行えます。2015 バージョンへのアップグレードは、2009 以降のバージョンである必要があります。

1.15. 変更前にアップグレードが必要なソフトウェアの一覧を確認することはできますか？

お客様はライセンス レポートをユーザ登録センターに WEB フォームよりリクエストすることができます。レポートには、各ソフトウェア タイトルのリリース日とアセット ステータスが記載されています。2009 以降のリリース日または「登録済み」ステータスは、タイトルが 2015 年 2 月 1 日までアップグレード資格を有することを示します。ライセンス所有ソフトウェア レポートのリクエストは、[ソフトウェア ライセンスおよびアクティベーション ヘルプ フォーム](#)から行ってください。

1.16. クロスグレード(現行バージョンから同じバージョンの上位製品への移行)は廃止されますか？

いいえ。今後も最新版製品から、同じバージョンの上位製品に有料で移行できます(異なる製品間でのアップグレードとみなされる)。例として、AutoCAD LT® の最新版を所有するお客様は AutoCAD® の最新版に、AutoCAD の最新版を所有するお客様は Revit® や AutoCAD® Design Suite の最新版にクロスグレードできます。最新版への具体的なアップグレード価格については、オートデスク認定販売パートナーにお尋ねください。

クロスグレードは、追加機能が必要なお客様のソフトウェア拡張ニーズに対応する方法として引き続きご利用いただけます。

1.17. クロスグレードとは？

クロスグレードとは、既にお持ちの最新版永久ライセンスを上位製品の最新版に移行することです。最新版への具体的なアップグレード価格については、オートデスク認定販売パートナーにお尋ねください。

1.18. オートデスクでは「上位製品」をどのように定義していますか？

オートデスクは上位製品のお客様により多くの機能、より高い機能を提供します。一般的に、上位製品は、下位製品に比べ高めの希望小売価格が設定されています。つまり、クロスグレードとは、少・低機能製品を、多・高機能製品に移行することです。お客様は引き続きクロスグレードによる購入オプションをご利用いただけます。

1.19. 永久ライセンスからDesktop Subscription(旧レンタルライセンス)にクロスグレードすることはできますか？

いいえ。現時点では、永久ライセンスからレンタル プランへのクロスグレードオプションを提供する計画はありません。

1.20. アップグレード ポリシー変更についてさらに質問がある場合の連絡先は？

質問や詳細情報については、オートデスク認定販売パートナーまたはオートデスクの担当営業にお問い合わせください。